



学校だより

10月号



朝晩の冷え込みが一段と厳しくなり、冬の訪れを感じる季節となりました。今年は例年になくカメムシが多く発生しています。「カメムシが多い年は雪が多い」との言い伝えもありますが、今年の冬はどうなるのでしょうか。

また、近隣では熊の目撃情報も寄せられており、警戒が必要な状況が続いています。本校では熊対策として、中・高等部の自力通学生には職員が登下校時に付き添いを行っています。また、熊が目撃された地域には近づかない、児童生徒の外出時には熊よけの鐘や撃退スプレーを携行するなど、安全対策を講じています。今後も安全を最優先に考え、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。

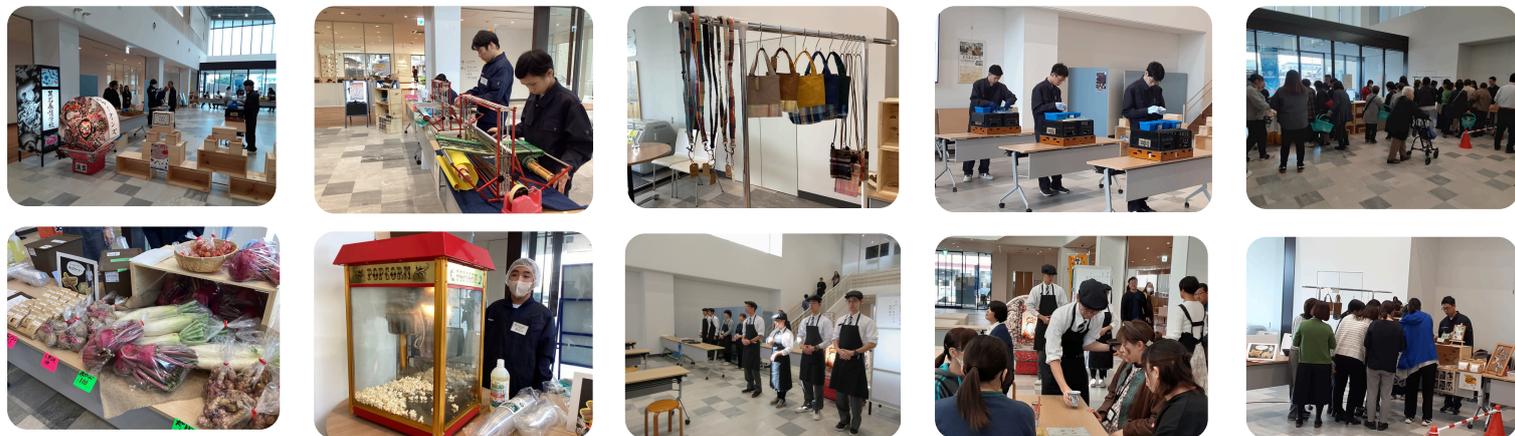


高等部 「黒養ワークフェア2025」

SOLD OUT

10月22日(水)から24日(金)の3日間、「第2回黒養ワークフェア2025」が黒石市役所のまちセンターにて開催されました。高等部の生徒たちは、日頃取り組んでいる作業学習(農工班、クラフト班、ビジネスコース)の成果を発揮すべく、事前の準備活動から当日の運営まで、自分達で考え主体的に取り組んでいました。

当日は、作業風景の公開や製品販売、喫茶の運営などに真剣な表情で臨み、特に3日目には販売や喫茶に行列ができるほどの盛況ぶりでした。多くのお客様との交流を通して、生徒たちの学びと成長が感じられる、充実した3日間となりました。



第2回学校運営協議会



10月28日(火)、本校にて学校運営協議会を開催しました。今回は「新校舎における特色ある教育活動について」をテーマに、2グループに分かれて熟議を行いました。委員の皆様からは、「地域に開かれた学校であってほしい」「子どもたちのことを地域の方々にもっと知ってもらいたい」といった思いが寄せられました。新校舎に設置予定の地域交流室の活用についても、カフェや製品販売会、プチコンサート、料理教室、保護者交流会など、多彩なアイデアが出されました。その他にも、学校周辺マップの作成、グラウンドの貸し出し、外国人との交流、スノーバスターズ、スクールバスの活用などの提案がありました。また、教員の業務過多にならないようバランスを取る必要性についても意見が交わされました。今回出されたご意見を参考にしながら、今後の教育活動の充実に向けて検討を進めていきたいと思っております。

黒養祭に向けて

11月8日(土)に開催される「黒養祭」に向けて、現在、各学部で本番に向けた練習が熱心に行われています。ステージ発表や中学部の販売活動、作品展示など、それぞれの学部が工夫を凝らし、児童生徒たちは意欲的に取り組んでいます。今年度は、9つの福祉事業所による販売会も予定されており、地域とのつながりを感じられる機会となりそうです。

児童生徒の成長や日頃の学習の成果を皆様にご覧いただける貴重な機会です。当日は多くの方々のご来場を心よりお待ちしております。

黒養祭

期 日	令和7年11月8日(土)
場 所	黒石養護学校 体育館、他
時 間	9:15~12:00
【学習発表、製品・物品販売】	

11月の行事予定

- 8日 黒養祭、青年学級
- 10日 振替休業日
- 13日 PTA 園庭整備
第2回あじさい家庭教育学級
- 19日 高) 技能検定(青い森アリーナ)
小) おはなし会
- 22日~23日 黒養作品展
(黒石りんごまつり会場にて)
- 26日 中) 烏城焼工房見学
- 27日~28日 高) 体験入學